さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

大月駅窓口に翻訳表示機器

16言語 やりとり円滑化

JR東とTOPPAN設置 訪日客に対応



駅を利用する訪日客と駅職員が話した言葉を翻訳して表示する機器＝JR大月駅

JR東日本と総合印刷会社TOPPAN（東京都文京区）はJR大月駅の窓口に、駅を利用する訪日客や駅職員が話した言葉を翻訳してディスプレーに表示する機器を導入した。同機器が鉄道会社で導入されるのは同駅が初めて。16の言語に対応していて、窓口での円滑なやりとりにつなげる。〈竹川元久〉

同駅は、富士山周辺を訪れる乗り継ぎで利用するケースが目立ち、窓口への問い合わせも多い。従来は筆談や翻訳アプリ機能のあるタブレットでやりとりしていたが、時間がかかることもあったという。両社は自動通訳機器の導入に向け、3月から同駅で実験を進めてきた。

JR東日本山梨事業本部とTOPPANによると、導入した機器は、非通信型自動通訳ディスプレー。欧米やアジアなどで使用されている計16言語に対応する（日本語含む）。利用者、駅員が発した言葉を双方の言語に翻訳し、ほぼリアルタイムでディスプレーに表示する。

実証実験では当初、インターネットを経由した通信型機器で進めた。しかし山間地で電波環境が悪いため通信状況に課題があり、翻訳に時間がかかるなどした。ネットを経由しない非通信型に変更し、迅速な翻訳が可能となったという。

10月5日に導入し、既に多くの訪日客とのやりとりで使用している。JR大月駅の岩田壮一副長は「切符の購入、電車の時間、観光案内などさまざまな問い合わせがある。機器を活用しスムーズにやりとりしていきたい」と話している。

ぐんない

竹川 元久、小林 諒一
鈴木 なつ美、望月 優真

（2026 年 10 月 27 日付 山梨日日新聞 16 面）

問1　ＪＲ大月駅が導入した自動通訳機器は、いくつの言語に対応していますか。

言語

問2　大月駅を利用する訪日客は、どのような目的で駅を利用することが多いですか。

問3　導入した機器は、インターネットに接続するタイプですか、接続しないタイプですか。

また、選んだ理由も答えてください。

[　　]接続する　　[　　]接続しない

理由:

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.